

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-78	高等学校	公民科	倫理	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	倫理 002-901	倫理		

1. 編修の基本方針

〈コンセプト〉

「対話」する教科書

(1) 豊富な原典資料を通じて、先哲と生徒の「対話」を促します

- ・ 原典資料を従来の約1.5倍の106点に増やすことで、日常の学習を通じて原典資料に親しみ、原典資料を通じて先哲の思想をより深く理解させると同時に、資料読解力や思考力・判断力・表現力を育成できるようにしています。
- ・ QRコンテンツ（二次元コードのデジタルコンテンツ）として原典資料をさらに81点分（従来の約4倍）用意しており、資料集がなくても学習に必要な原典資料を網羅できます。
- ・ 原典資料には適宜解説文を付記するとともに、原典資料や図表に資料活用のポイントを示す「❓の問い」を計21箇所（従来の約2.6倍）付記することで、資料の読解を助けます。
- ・ 古文や漢文の書き下し文の原典資料には、すべて、QRコンテンツ（デジタルコンテンツ）として現代語訳を用意しており、苦手な生徒でも学習しやすくしています。

(2) 豊富な問いや特設ページを通じて、授業での「対話」を促します

- ・ 学習のポイントを示す「❗の問い」を72箇所（従来の1.8倍）設けており、授業中の発問や対話的な学習に活用できます。
- ・ 特設ページ「思考と対話」を7箇所設け、倫理学習における重要概念について、生徒どうしの対話を通じて探究することができるようにしています。
- ・ 「『倫理』における探究」（p.7）では、対話を含む探究学習の方法について丁寧に説明しており、「思考と対話」のページの学習や、第2編での探究学習などの際に活用できます。

(3) わかりやすい本文と問いを通じて、先哲の思想の確実な理解を促します

- ・ 本文をよりわかりやすく改善しました。重要用語はゴシック体の太字で示し、思想史の流れや哲学的な概念をおさえるためのポイントには波線の下線を付記して、学習しやすくしています。
- ・ 節の冒頭部に「節の課題」（リード文の下線部）を示すとともに、項の冒頭に「項の課題」（★のマークの問い）を新設することで、見通しをもって学習に取り組めるようにしています。
- ・ 教科書の冒頭に「『公共』で学習するおもな『倫理』の内容」（p.1）と「『倫理』の用語」（p.8）のページを設け、基本事項を確認しながら学習できるようにしています。
- ・ 身近な話題を取り上げる特設ページ「エッセイ」を8箇所設け、生徒の興味・関心を引き出し、倫理の学習を自分事として捉えることができるようにしています。

2. 対照表

■教科書全体に共通する要素

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
コラム	・本文と関連する話題や、本文を深める内容などを取り上げることで、興味・関心を高めながら学習に取り組むことができるようにしました。(第1号)	21、27、46、57 ページなど、全体で26箇所
レクチャー	・学習のポイントを丁寧に解説することで、基礎・基本を無理なく確実に理解できるようにしました。(第1号)	14、36 ページなど、全体で18箇所
❗の問い	・考察したり話し合ったりする活動を紹介することで、主体的・対話的で深い学びを実現できるようにしました。(第1、2号)	10、15 ページなど、全体で72箇所
❓の問い	・図表や原典資料の読み取りや分析のポイントを示して、資料読解の技能を育てることができるようにしました。(第1、2号)	13、52 ページなど、全体で21箇所
節の課題／ 項の課題	・節の冒頭には節の学習船体を貫く課題を、項の冒頭には項の学習を見通す課題を掲載することで、単元としてのまとまりを意識しながら主体的に学習することができるようにしました。(第1、2号)	10、13 ページなど、節の課題は全体で30箇所、項の課題は55箇所
「公共」ふり返し	・「公共」での学習と関連する箇所に掲載し、「公共」の内容を振り返りながら学習できるようにしました。(第1号)	38、108 ページなど、全体で8箇所
思考と対話	・第1編の各章末に設け、その章での学習を生かしながら探究学習ができるようにしました。(第1、2、3号)	22～23 ページなど、全体で7箇所
エッセイ	・生徒にとって身近な話題などを取り上げ、学習への興味・関心を高めることができるようにしました。(第2、3号)	24、82 ページなど、全体で8箇所
平易な文章／ 丁寧な注	・文章を平易に記述するとともに、重要な語句はゴシック体の太字で示し、思想史の流れや哲学的な概念を押さえるためのポイントには波線の下線を付して、重要な知識を確実に理解できるようにしました。(第1号) ・注は従来から50箇所増やして355箇所に掲載し、用語等の意味を理解しやすくしました。(第1号)	全体
豊富な資料	・原典資料や写真、図表などを従来から約30点増やして約440点掲載し、本文に図番号を振ることで、本文と合わせて学習できるようにしました。(第1号)	全体

■単元ごとの内容

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ・「口絵」として学習内容にかかわる美術資料を掲載し、学習への意欲を高められるようにしました。(第1号) ・「『公共』で学習したおもな『倫理』の内容」のページを設け、「公共」の学習内容の振り返りから「倫理」の学習へと導入できるようにしました。(第1号) ・「この教科書の使い方」と「『倫理』における探究」のページを設け、教科書の構成や探究学習の方法を概説することで、主体的に学習に取り組めるようにしました。(第1、2号) ・「『倫理』の用語」のページを設け、倫理学習の基本用語を解説し、主体的に学習に取り組めるようにしました。(第1、2号) 	裏表紙～1 ページ 2 ページ 6、7 ページ 8 ページ
第1編第1章 人間の心のあり方	・学問的な考察に基づいた正確な記述と、客観性・中立性を確保した解釈の提示に努めることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第1号)	全体

	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の特質やアイデンティティの確立などの自己の発達課題、個性や感情のメカニズムを取り上げることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第2号) ・自己の在り方や現代社会における青年期の特徴、他者と共生していくための心の働きを取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第3号) ・人間の考える営みや、心の働きと周囲の環境との関連性を取り上げることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第4号) ・日本社会にまつわる例示を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第5号) 	<p>10～12、16～21 ページ</p> <p>11～12、15、18、20～21 ページ</p> <p>10～11、13～15、19～21 ページ</p> <p>12 ページ</p>
<p>第1編第2章 さまざまな人生観 ・倫理観・世界観 I</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学問的な考察に基づいた正確な記述と、客観性・中立性を確保した解釈の提示に努めることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように配慮しました(第1号)。 ・人間としての在り方生き方に関する先哲の思想を倫理的な観点から取り上げて丁寧に記述することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第2号) ・幸福や愛、正義、社会、国家に関する先哲の思想を取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第3号) ・先哲のさまざまな自然観に着目して丁寧に記述することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第4号) ・日本の伝統と文化に大きな影響を与えた諸思想を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第5号) 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>31～36、38～41、47～49、62、67～74、78～81 ページ</p> <p>28～30、37～38、59、62、73～74 ページ</p> <p>26～27、42～43、57～65、67～74 ページ</p>
<p>第1編第3章 さまざまな人生観 ・倫理観・世界観 II</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学問的な考察に基づいた正確な記述と、客観性・中立性を確保した解釈の提示に努めることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第1号) ・人間としての在り方生き方に関する先哲の思想を倫理的な観点から取り上げて丁寧に記述することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第2号) ・幸福や愛、正義、自由、社会、国家、文化、フェミニズム、ケアに関する先哲の思想を取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第3号) ・先哲のさまざまな自然観に着目して丁寧に記述することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第4号) ・日本を含む東洋の自然観や、災害時のボランティア活動を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>85、96～99、103、106～112、121、125～128、134～137、140～144、146～149 ページ</p> <p>88～90、93、113、142～145 ページ</p> <p>142、145 ページ</p>

	郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第5号)	
第1編第4章 国際社会における日本人としての自覚	<ul style="list-style-type: none"> 学問的な考察に基づいた正確な記述と、客観性・中立性を確保した解釈の提示に努めることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第1号) 人間としての在り方生き方に関する先哲の思想を倫理的な観点から取り上げて丁寧に記述することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第2号) 自由民権思想や、社会主義、女性解放などの社会思想、戦後思想を取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第3号) 先哲のさまざまな自然観に着目して丁寧に記述することで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第4号) 日本における独自のものの考え方や感じ方について詳細に記述し、それが外来思想との関わりの中で育まれてきた点について丁寧に扱うことで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第5号) 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>189、192～193、197、202～205、208 ページ</p> <p>154～156、182～183、201 ページ</p> <p>全体</p>
第2編 現代の諸課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> 学問的な考察に基づいた正確な記述と、客観性・中立性を確保した解釈の提示に努めることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第1号) 現代社会における諸課題を倫理的な観点から取り上げて丁寧に記述することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第2号) 福祉や家族などの問題を取り上げることで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第3号) 生命倫理や環境倫理など、生命と自然をめぐる現代的な諸問題を取り上げることで、生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第4号) 文化と宗教の多様性、経済格差や平和の課題を取り上げることで、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第5号) 	<p>全体</p> <p>全体</p> <p>226～229 ページ</p> <p>210～220 ページ</p> <p>230～238 ページ</p>
巻末	<ul style="list-style-type: none"> 「『倫理』の学習をふまえた小論文の書き方」のページを設け、倫理学習を通じて形成した自らの考えを適切に表現することができるようにしました。(第2号) 「思想史年表」を掲載し、「倫理」の学習を時系列に沿って整理し、知識を確実に定着できるようにしました。 	<p>239 ページ</p> <p>240～243 ページ</p>

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 使いやすい判型と紙面構成

- ・ A5判とB5判の中間にあたる特殊な判型（B5変型判）を採用することで、コンパクトかつ充実した紙面を実現しました。本文ページには側注欄を設け、資料や注を充実させるとともに、学習を助ける多様な「問い」を掲載しました。

(2) インクルーシブ教育や環境への配慮

- ・ 教科書全体を通してユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用し、文字の視認性を高め、読み取りやすくしました。
- ・ カラーユニバーサルデザインに配慮し、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するとともに、グラフなどでは、凡例をできるだけ使用せずに図中に直接示すようにしました。
- ・ QRコンテンツ（二次元コードのデジタルコンテンツ）として、本文を読み上げる「読み上げ音声」を用意し、視覚だけでなく聴覚からも学習できるようにしました。
- ・ 環境に配慮して、再生紙と植物油インキを使用するとともに、印刷業界団体が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-78	高等学校	公民科	倫理	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	倫理 002-901	倫理		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

※以下のページ数は、教科書内でのページ数を示します。

(1) 学習内容への理解を深め、資料読解力を育成するための原典資料の充実

- ①〔原典資料の充実〕日常の授業で先哲の原典資料に親しみ、学習を深められるよう、原典資料を従来の70点から106点へと約1.5倍に増やしました。日本語訳や現代語訳は、生徒の発達段階を考慮して、できるだけわかりやすくしています。また、資料によっては解説文を付記して、理解を補助しています。

ヘラクレイトスのことば〔p.29〕	顔（レヴィナス）〔p.134〕
人間が目指す善（アリストテレス）〔p.38〕	活動（アーレント）〔p.135〕
快樂主義（エピクロス）〔p.40〕	コミュニケーション的理性（ハーバーマス）〔p.136〕
天地創造（『旧約聖書』）〔p.44〕	第二の性（ボーヴォワール）〔p.137〕
原罪（アウグスティヌス）〔p.52〕	ケアの倫理（ギリガン）〔p.137〕
空の思想と唯識説（ナーガールジュナほか）〔p.64〕	言語の限界（ウイトゲンシュタイン）〔p.138〕
格物致知（『朱子文集』）〔p.72〕	一隅を照らす（最澄）〔p.163〕
自由意思をもつ人間（ピコ）〔p.85〕	即身成仏（空海）〔p.164〕
信仰義認節（ルター）〔p.87〕	自然法爾（親鸞）〔p.166〕
予定説（カルヴァン）〔p.88〕	身心脱落（道元）〔p.168〕
自然権としての所有権（ロック）〔p.97〕	日本の無常観（鴨長明ほか）〔p.170〕
一般意志（ルソー）〔p.99〕	士道（山鹿素行）〔p.177〕
精神と歴史（ヘーゲル）〔p.105〕	万人直耕（安藤昌益）〔p.183〕
疎外された労働（マルクス）〔p.111〕	和魂洋才（佐久間象山ほか）〔p.185〕
真理と有用性（ジェームズ）〔p.115〕	学問の精神と独立の精神（福沢諭吉）〔p.188〕
道具主義（デューイ）〔p.115〕	社会主義と平和主義（幸徳秋水）〔p.193〕
生命の跳躍（ベルクソン）〔p.121〕	民本主義（吉野作造）〔p.193〕
良心のよび声（ハイデッガー）〔p.124〕	思想の根底（北村透谷）〔p.203〕
実存的交わり（ヤスバース）〔p.124〕	近代批評（小林秀雄）〔p.203〕
実存は本質に先立つ（サルトル）〔p.125〕	日本の思想（丸山真男）〔p.204〕
野生の思考（レヴィ＝ストロース）〔p.128〕	未来世代への責任（ヨナス）〔p.218〕
哲学の効用（ドゥルーズ）〔p.131〕	過去に向きあう（ヴァイツゼッカー）〔p.235〕

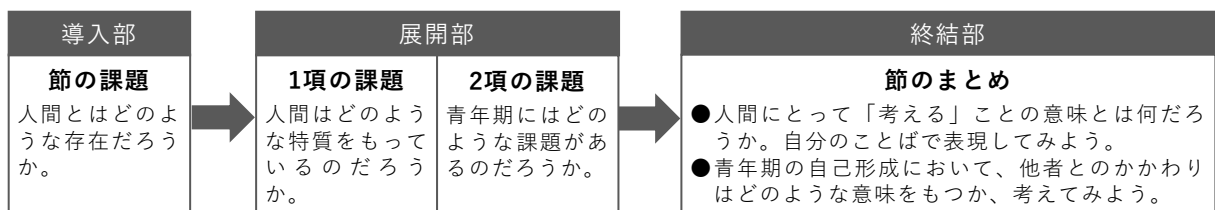
▲新たに紙面に掲載した原典資料

- ②〔資料読解の問いの充実〕原典資料や図版には、読み取りや活用を促す「？の問い」を付記しています。その点数を従来の8点から21点へと増やすことで、資料読解力を育成できるようにしています。

- ③〔「デジタル原典資料」の掲載〕教科書紙面に掲載しきれない定番の原典資料を、QRコンテンツ（二次元コードのデジタルコンテンツ）として用意しました。その点数は81点で、従来の20点の約4倍に増やしています。また、生徒が自学自習で用いることを考慮して、それらすべてに解説文を付記しています。なお、紙面とデジタルを合わせると、原典資料の掲載数は、従来の90点から187点へと2倍以上に増加しています。
- ④〔「デジタル現代語訳」の掲載〕教科書紙面に掲載している古文や漢文書き下し文の原典資料すべて（25点）について、生徒が学習しやすいように、現代語訳をQRコンテンツ（二次元コードのデジタルコンテンツ）として用意しました。

(2) 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた「問い」の充実

- ①〔「問い」を軸にした学習の構造化〕各節の導入のリード文中に「節の課題」を提示して学習の見通しをもたせるとともに、終結部に「節のまとめ」を掲載することで、節単位で学習を構造化し、主体的な学びを促すようにしました。さらに、各項に、節の問いを具体化した「項の課題」を掲載することで、問いを意識しながら学習を進めることができるようにしました。



▲節の学習の構造（第1編第1章1節の例）

- ②〔思考・判断・表現を促す問いの工夫〕考察や対話を促す「❶の問い」を、従来の40点から72点へと1.8倍に増やしました。ほぼすべての項に1点以上掲載しています。生徒にとって学習のポイントがわかりやすくなるのはもちろん、教師の発問のヒントにもなるよう配慮しています。
- ③〔主体的・対話的な学びを促す「思考と対話」〕第1編の各章の末尾に「思考と対話」のページを計7箇所設け、倫理学習における重要概念について、生徒どうしの対話を通じて探究できるようにしました。このページには、具体的な作業を示す3段階の「WORK」を用意し、さらにまとめの考察として「TRY」を設けることで、探究学習の流れをわかりやすく示しています。

「心」をめぐる [p.22~23]	「正義」をめぐる [p.148~149]
「幸福」をめぐる [p.78~79]	「真理」をめぐる [p.150~151]
「愛」をめぐる [p.80~81]	「日本人の心情」をめぐる [p.206~207]
「自由」をめぐる [p.146~147]	

▲「思考と対話」の一覧

- ④〔倫理的課題の探究を促す第2編の構成〕第2編では、各節の導入部に「節の課題」を提示するとともに、終結部に「探究課題」を掲載することで、現代の倫理的課題の探究を促すようにしました。また、QRコンテンツ（二次元コードのデジタルコンテンツ）として、授業で扱いやすい長さの「導入映像」を用意したり、豊富な資料を掲載したりして、生徒の興味・関心を高められるように工夫しています。
- ⑤〔探究の方法や小論文の書き方の解説〕教科書の冒頭に「『倫理』における探究」（p.7）を掲載し、問いのつくり方や古典の読み方、対話の仕方といった探究のポイントについて解説しています。また、巻末に「『倫理』の学習をふまえた小論文の書き方」（p.239）を掲載し、探究の成果を小論文の形式でアウトプットする方法を丁寧に説明しています。

(3) 基礎・基本の理解と定着を促す本文や注の工夫

- ①〔わかりやすい本文記述〕抽象的な学習内容をより理解しやすくするために、本文記述を改善しました。具体的には、高校の先生方の意見をもとに、日本語としての表現や言い回しをわかりやすいものに変更したり、抽象的な記述については具体例を挙げたり、一文が長い文章を短く区切ったり、押さえるべきポイントを明確化したりするなどの工夫を施しました。
- ②〔ポイントを示す太字と波線〕重要な用語はゴシック体の太字で示すとともに、思想史の流れや哲学的な概念を押さえるためのポイントには波線の下線を付記して、学習しやすくしています。
- ③〔重要事項を解説する「レクチャー」〕学習上の重要事項については「レクチャー」のコーナーを設けて詳しく解説し、確実に理解できるようにしています。

記憶のメカニズム〔p.14〕	朱子学・陽明学の日本への影響〔p.72〕
内発的動機づけ〔p.17〕	聖書と活版印刷術〔p.87〕
プラトン主義の影響〔p.36〕★	物自体〔p.101〕
聖と俗〔p.43〕	絶対精神〔p.105〕
一神教〔p.46〕	進化論〔p.113〕
キリスト教とプラトン哲学〔p.52〕	ニヒリズムの克服〔p.119〕
スナナ派とシーア派〔p.56〕★	おのずから〔p.154〕★
仏教と一神教〔p.62〕	曹洞宗と臨済宗〔p.168〕
性善説と性悪説〔p.71〕	主客未分〔p.198〕

▲「レクチャー」の一覧（★は新規掲載）

- ④〔注の充実〕本文には適宜注を付記し、用語の意味を解説したり、関連する事項を取り上げたりしています。注の数は、従来の308点から355点へと約15%増やし、充実させました。
- ⑤〔基本用語の解説〕「倫理」の学習全体に関わる基本用語については、「『倫理』の用語」(p.8)を掲載して丁寧^にに解説し、本文の理解を助けるようにしています。
- ⑥〔共通テストを踏まえた内容の見直し〕高校の先生方の声や、近年の共通テストの傾向などを踏まえて取り上げる人名や用語を検討し、記述を充実させました。

ボウルビィ〔p.19〕	ロマン=ロラン〔p.144〕	市川房江〔p.197〕
イブン・シーナー〔p.56〕	キング牧師〔p.144〕	山川菊栄〔p.197〕
玄奘〔p.63〕	フランクル〔p.144〕	伊藤野枝〔p.197〕
フィヒテ〔p.104〕	神谷美恵子〔p.144〕	坂口安吾〔p.202〕
シェリング〔p.104〕	明恵〔p.169〕	ブーアスティン〔p.221〕
ポパー〔p.139〕	叡尊〔p.169〕	リースマン〔p.221〕
テイラー〔p.141〕	忍性〔p.169〕	ヴァイツゼッカー〔p.235〕
トルストイ〔p.144〕	井上哲次郎〔p.191〕	

▲新たに掲載したおもな人名（過去に掲載したことのある人名の復活掲載も含む）

(4) 学びやすさに配慮した構成・配列

- ①〔「公共」からの接続〕教科書の冒頭に「『公共』で学習したおもな『倫理』の内容」(p.2)を掲載し、「公共」の学習内容の振り返りから「倫理」の学習へと円滑に導入できるようにしました。また、「公共」の学習内容に関連するページには「『公共』ふり返り」のマークを掲載し、「『公共』で学習したおもな『倫理』の内容」のページへリンクさせることで、「公共」の学習内容と結び付けながら学習できるようにしています。
- ②〔心理学に関する記述の充実〕現行の学習指導要領から取り上げられるようになった心理学の記述について改めて検討し、充実させました。特に、「心の理論」やコールバーグの道徳性発達理論、「ハイイツのジレンマ」などについて、より丁寧に記述しました。

- ③ **〔ジェンダーや性の多様性に関する記述の充実〕** 近年より重視されるようになってきているジェンダーや性の多様性についての記述を充実させました。具体的には、第1編第3章に「フェミニズムとケアの倫理」(p.137)の小見出しを新たに設け、ボーヴォワールやギリガンの思想について学習できるようにしています。また、第1編第4章では、日本の「女性解放運動」(p.197)についての記述をより充実させています。第2編では、「ダイバーシティとインクルージョン」(p.228~229)の記述の中で性の多様性について取り上げ、アンコンシャス・バイアスやマイクロアグレッションなどについても解説しています。
- ④ **〔科学哲学や科学技術に関する記述の充実〕** 第1編第3章で「科学知の再考」の小見出し(p.139)を新たに設け、ポパーやクワイン、クーンなどの科学哲学の記述を充実させました。また、第2編では「リスク社会と科学技術」の小見出し(p.224~225)を設け、科学技術を光と影の両面から捉えられるようにしています。
- ⑤ **〔時事的な話題の掲載〕** 第2編では、現代の倫理的課題についての学習を深められるよう、時事的な話題を積極的に掲載しています。具体的には、上述の③④に加え、終末期医療(p.211~212)、BMI(p.213)、SDGs(p.217)、動物倫理(p.219)、フェイクニュース(p.223)、人工知能と生成AI(p.223~224)、合理的配慮(p.228)、ヘイトスピーチ(p.232)、パレスティナ問題とロシアのウクライナ侵攻(p.236~237)などを取り上げています。
- ⑥ **〔学習内容を自分事として捉える「エッセイ」〕** 身近な話題を取り上げた「エッセイ」を8箇所掲載し、学習内容を日常生活や実社会と結び付け、自分事として考えられるようにしました。

ひとりである能力、他者とともにある能力〔p.24〕	東洋の自然観〔p.145〕
民衆は仏教をどのように受けとめたか〔p.65〕	日常のことばで哲学をはじめ〔p.152〕
哲学的な見方と科学的な見方〔p.82〕	「おのずから」と「みずから」のあわい〔p.186〕
「確率を生きる」不確実性の中の適切な判断力〔p.133〕	日本思想における人間の尊さの自覚〔p.208〕

▲「エッセイ」の一覧

(5) 学びを広げるデジタルコンテンツの充実

- ① **〔音声で学習する「読み上げ音声」〕** 本文をAIが読み上げる「読み上げ音声」をすべての項に用意し、視覚だけでなく聴覚を通じて学習できるようにしています。
- ② **〔現代の倫理的課題を取り上げる「導入映像」〕** 第1編第1章の宗教や第2編では、現代の倫理的課題等に関する映像教材を用意し、学習に対する興味・関心を喚起できるようにしています。
- ③ **〔豊富な原典資料と現代語訳〕** 教科書紙面に掲載していない原典資料81点を「デジタル原典資料」として用意し、より学習を深められるようにしています。また、教科書紙面に掲載している日本の古文や漢文書き下し文の現代語訳25点を「デジタル現代語訳」として用意し、生徒の理解を助けます。
- ④ **〔共通テスト形式の演習問題〕** 「倫理」の重要事項に関する共通テスト形式の演習問題「思考問題セレクション倫理」17題を用意し、演習形式で理解を定着できるようにしています。自学自習で取り組めるよう、それぞれ詳しい解説も用意しています。
- ⑤ **〔スライド形式の解説〕** 「公共」で学習する「目的論と義務論」や、「錯視の心理学」についてスライド形式で解説する「ポイント解説」を用意しています。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
口絵	A-(1)(2)、B-(1)(2)	表紙裏～1 ページ	－
「公共」で学習したおもな「倫理」の内容	A-(1)(2)、B-(1)(2)	2 ページ	－
はじめに	A-(1)(2)、B-(1)(2)	3 ページ	－
「倫理」における探究	A-(1)(2)、B-(1)(2)	7 ページ	－
「倫理」の用語	A-(1)(2)、B-(1)(2)	8 ページ	－
第1編 現代に生きる自己の課題と人間としてのあり方生き方	A-(1)(2)	9～208 ページ	64
第1章 人間の心のあり方 1節 人間とは何か 2節 人間の心の働き	A-(1)ア(ア)(オ)、イ	9～24 ページ	5
第2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 I 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 3節 宗教と社会 4節 ユダヤ教とキリスト教 5節 イスラーム 6節 古代インドの思想と仏教 7節 中国の思想 8節 芸術	A-(1)ア(イ)(ウ)(エ)(オ)、 イ	25～82 ページ	21
第3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観 II 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念 6節 人間観の問いなおし 7節 他者・自然とのかかわり	A-(1)ア(イ)(ウ)(エ)(オ)、 イ	83～152 ページ	21
第4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本の精神風土 2節 仏教と日本の思想形成 3節 儒教と日本の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本の近代化 7節 現代日本における生き方の自覚	A-(2)ア(ア)(イ)、イ	153～208 ページ	17
第2編 現代の諸課題と倫理 1節 生命 2節 自然 3節 科学技術 4節 福祉 5節 文化と宗教 6節 戦争と平和	B-(1)(2)	209～238 ページ	6
「倫理」の学習をふまえた小論文の書き方	A-(1)(2)、B-(1)(2)	239 ページ	－
思想史年表	A-(1)(2)、B-(1)(2)	240～243 ページ	－
		計	70